

矢板でもっとも被害の大きかった、成田ハッピーハイランドとロビンシティの中間にある(株)高橋フーズでは、業務用に九十メートルボーリングした井戸の水を使っています。この水は水質検査で「飲料に適している」という結果が出ています。断水で困っている近所の方が使えるよう、私設の給水所を提供した高橋州宏社長にお話を伺いました。

●どうして給水所を？

大震災で水が止まってしまい、扇町にある自宅では水がなく、トイレなどの生活水の大切さ・ありがたさを感じました。

給水所が少なく長時間待たなければなかなか水が入らない状態を知り、三月十三日から、矢板市成田の会社前に、給水所を作り、心配する方のために水質検査成績表も張り出しました。

その後、成田区長さんから市のホームページに掲載して良いかどうかの打診があり、「ぜひ！」と承諾したところ、急にたくさんの方が利用するようになりました。

●利用された方の反応は？

昼間働いている人が夜でも来られるように、照明をつけて二十四時間給水できるようにしたり、容器のない方に風呂用として五百リットルのタンクを千個と、飲料水用

に二十リットルのポリタンクを八十個貸し出したりしましたが、女性やお年寄りには社員が手伝ったりしたので「本当に助かりました」と感謝されました。

車のない方や、高齢者の方には自宅までフォークリフトで風呂水に使うタンクを運んであげたため何日かぶりに風呂に入れたと特に喜ばれました。

●今回のことでどんなことを思いましたか？

矢板市の温泉が無料で開放されましたが、すごい混雑で服を脱いだ状態で洗い場の順番待ちが大変だったと聞き、整理券を配るなどもっと良い方法はないかと思いましたが、またそこでは、水が出ている家庭の方も混じって利用していたと聞き、残念で仕方ありません。(H・K)



水の出るありがたさを感じました

震災でゴルフコースや設備に被害を受けたファイブエイトゴルフクラブ(安沢)が、給水やお風呂の提供をして、地元の市民に大変感謝されています。このことについて、小森寿久社長に伺いました。

●地震の被害が大きかったと思いますが、そのような中で、給水やお風呂の提供をされたとのことですが？

コース内の道路、グリーンからバンカーまでの地割れ、地盤沈下、コースの配水管など、約二十カ所が損壊、想像を絶する被害を受けました。

幸い建物自体は、丈夫に建てられていたので、ほとんど被害が無かったことと、従業員の皆さんが、「一致団結をして被害を克服しよう、そして地域のために役立つことをしよう」という熱い思いを持っていただけからできました。

●給水やお風呂の提供は、具体的にどのように行ったのですか？

十三日(日)昼ごろ電気が通じ、地下水が使えることが分かりました。

お風呂は、重油使用のポイプーが午後二時過ぎに動くことを確認しました。ただし、重油の在庫は四〜五日分の二千リットルしかなく、重油が追加で入るか

どうか不安がありました。しかし、従業員の後押しもあり、オーナーの丸山茂樹プロとも打ち合わせ、「できるだけ支援するように」ということでしたので、市役所に相談したところ、強い要請を受け、給水とお風呂を提供することを決断しました。

●給水やお風呂の反応はいかがでしたか？

利用者からは、私をはじめ従業員の一人ひとりに対して、どこで会っても「有り難うございました」とか「助かりました」と涙ぐんだり、手を合わせてお礼を言われたりして、これまでの人生の中で大変うれしく、私自身の励みにもなりました。

また、従業員が一致団結して復興への努力をしたり、給水・お風呂の提供などに一生懸命働いてくれて感動の連続でした。

●営業はどのようになっていますか？

社員皆と考えた末、プレー代金を無料とし、その代わりに震災のチャリティー募金をしていただくことで、プレーを再開することとし、三月末まで続けました。(四月は月曜日のみ継続)

今までは首都圏からのお客様が大部分でしたが、今回は、地元の方もたくさん来られ、チャリティー参加しながら、当ゴルフ場のことを知っていただきました。



地割れのあとも生々しいクラブハウスの前で

継続できるか不安でしたが、業者から何とか四千リットルの重油を追加してもらい、継続することが出来ました。

●お話を伺っている最中に感極まる場面もあり、うっすらと涙を浮かべていた姿が印象的でした。(H)

お話を伺っている最中に感極まる場面もあり、うっすらと涙を浮かべていた姿が印象的でした。(H)